

よい人、よい町、よい政治、議員が編集した手づくり広報紙



# こころにちがは 議会 会 づ ず

No. 34



▲ 初日の出(岩下橋から望む)

## 12月定例会

平成14年度  
一般会計および特別会計の決算認定を  
含む20議案を審議 — 2ページ

活気ある町づくりに向けて  
7人が一般質問 — 3ページ

シリーズ  
「学校を訪ねて」 — 10ページ



# 一般会計決算など20議案を審議

12月定例会は、12月1日から12月18日までの18日間の会期中で開かれました。

本定例会では、平成14年度の決算や補正予算案のほか、条例改正案、工事請負契約など計20議案が提案され、19議案が可決、1議案が否決されました。

また、継続審査となっていた請願1件が不採択となりました。

特別会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町梶山地区農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町宮村南部地区農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

○平成15年度三股町一般会計補正予算(第4号)

○平成15年度三股町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

○平成15年度三股町介護保険特別会計補正予算(第1号)

○平成15年度三股町水道事業会計補正予算(第1号)

○工事請負契約の変更(町体育館改修事(建築主体工事))

○工事請負契約の締結(多世代交流センター建築主体工事)

○財産の取得(小型動力ポンプ積載車)

○損害賠償額の決定及び和解

○工事請負契約の締結(多世代交流センター電気設備工事)

## 条例改正

「議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正」

今回の改正は、人事院勧告の趣旨に沿って、職員の給与の引き下げなど関連する4つの条例の一部を改正しました。

「三股町農村広場の設置及び管理に関する条例の一部改正」

この改正には、餅原農村広場を新たに加えるという内容です。

## 請願

「新馬場河川敷公園建設に関する請願」

不採択

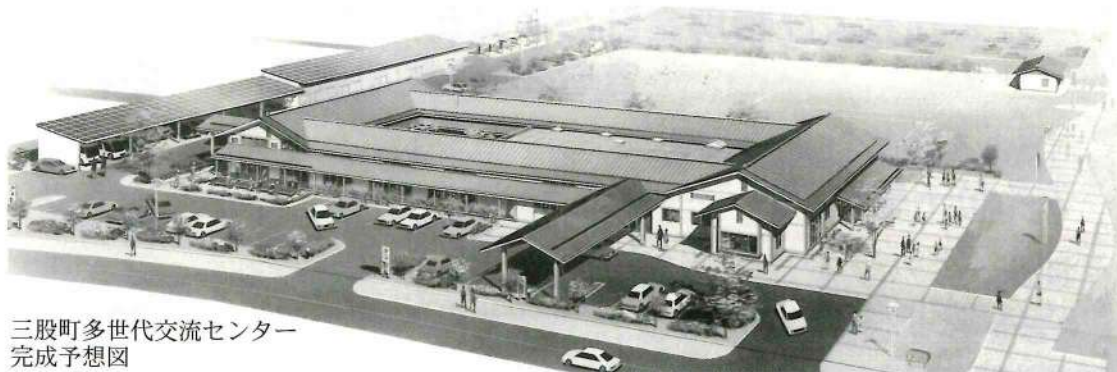
## 可決

○専決処分した事件の報告及び承認(平成15年度三股町一般会計補正予算(第3号))

○平成14年度三股町一般会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

○平成14年度三股町老人保健



三股町多世代交流センター完成予想図



# 一般質問

## 1市5町法定協への参加は

町長 参加は考えていない

12月議会の一般質問は  
12月16日・17日に行われ  
7人の議員が質問しました。  
内容を要約してお知らせ  
します。

**問** 先般実施された住民アンケートの結果、回収率が40.9%という結果を、町長はどう評価するのか。

**町長** 住民アンケートの結果は貴重な回答であったと考え、結果を重視していく。総合的に否定的な意見が多かった。行財政改革を実施し、自立を視野に入れ、単独シミュレーションを作成中である。

**問** 法定協議会へ参加されるのであれば町長の基本姿勢について伺う。

**町長** 法定協議会への参加は合併を前提としたものであり、合併は地方自治の根幹にかかわる重要な問題で議会とも十分協議していくが、一市五町の法定協議会への参加は考えていない。



福留 久光議員

**問** 昼窓の実施は

**町長** 昼休み時間中の窓口業務の取扱について、3月の定例議会でも取りあげたが、その後どのような検討を行いその結果はどうなったのか。

**町長** 各課とも関係があり、4月以後2回検討した。昼休み時間は職員の勤務時間の問題もあり、自動交付機設置で検討している。

**問** 住民基本台帳カードの制度がスタートしているが、本町におけるカード発行状況と使用状況はどうなっているか。

**町長** カードの発行枚数は11枚で、現時点では利用方法がほとんどなく、使用されていない。

**問** 窓口業務は多岐にわたっており、どのような証明書を取り扱うか慎重に検討しているところであり、近々その結果を報告できると思う。



自立か、合併か…



# 公共施設に手すりを

## 町長 総合的な視野で検討したい



的場 茂議員

**問** 新設公共施設には、設備整備はなされているが、公民館等は、弱い立場の方々、高齢者や身障者に対しての配慮が足りない。

多くの人が集まる施設に手すり等、取り付けて頂きたい。

**町長** 文化会館・図書館・2地区交流プラザには、バリアフリー化等すべての人にやさしい施設として建設した。

今回、多世代交流センターの建設も、高齢者・身障者にやさしい、スロープ、手すり等計画しているが、本町には築30年を超える建築物等を含め段差があったり、手すりのない施設があることは事実である。

公民館や児童館等、施設を利用する人・利用方法実態を

把握し、手すり等の取付けを含めた総合的な視野で検討したい。

### 花いっぱい運動への取り組みは

**問** 9月議会で質問した、花いっぱい運動の現場調査結果と今後の取り組みは。

**町長** 転作田への菜の花や、コスモス等の作付けについては、助成金が抑えられ、又現地は、「たばこから大豆」飼料1年2期作」の作付け体系が確立しているので、水田所有者や耕作者の理解を得ることは難しい。

水路については、近年食文化の進展により家庭からの雑排水流入で水質が悪化しているが、公共下水道事業の進捗によって今後、改善されると思う。

管理道路は現在、土地改良区の組合員である隣接農地の耕作者により草払い等の維持管理がなされているが、費用と同時に高齢化が進み、今後の維持管理について土地改良区は大変心配されている。

この実情を考えるととき行政

においても、維持管理等に積極的に対応する必要があると思う。敷砂利、管理等を含め、山新土地改良区と協議して、できるものは実施していく。

傾斜地活用の環境美化は良いが、安全を考え、利用区域等と含め検討が必要である。

21世紀は環境の時代と言われていて。私も現地を感じの良い所であり、今後行政主導でなく民意を集めて、環境美化に努め、行政指導して取り組んでいく。

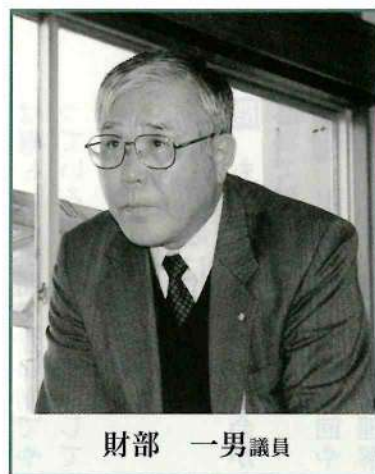


公共施設の手すり



# 中学校全面改築は公約ではないのか

## 町長 あくまでも施政方針である



財部 一男議員

**問** 先の9月定例議会において同僚議員の一般質問で、三股中学校校舎整備について、答弁されたが、過去の経緯等を踏まえて、その見解には驚愕と行政の最高責任者としての資質を深く感じ得ない無責任な政策転換である。年次的に計画的に取り組んできた政策が最終局面で計画変更された意図は何か。

**町長** 平成13年度三股中学校の老朽化が激しく改築準備委員会を設置し、自ら全面改築の検討に取り組んできたが、今年度危険校舎に該当しないと判明し大規模改修を視野に入れ検討することに変更した。

**問** 町長が13年度施政方針として義務教育施設である三股中学校の全面改築を最優先するかと町民に示した施策は公約ではないのか。

**町長** あくまでも施政方針である。

**問** 町長が議会に対し又町民に対し方針を発言することはあくまでも町長の公約であると思う。再度答弁を。

**町長** 施政方針が公約であるかどうか検討して行きたい。

**問** 教育長に尋ねる。平成11年度から4年以上も検討し取り組みをして来たことに対し率直な見解を聞きたい。

**教育長** 平成11年度に町長から「一千人を越す大規模校で老朽化が激しいので」重点施策として全面改築をするとうことに対し教育関係者も夢と希望をもっていった。教育委員会としては、中学校の生徒たちが大規模改修で教育環境が整い教育がたかまることを期待している。

**岩下橋の改築について**

**問** 町の幹線道路で一番交通量の多い三股・庄内線に架かる岩下橋は、県内においても一番古い橋ではないのか。橋は狭い、大型車の交差は出来

ない、通学の中・高校生は危険な状態に追いやられている。危険な橋である岩下橋について、町は今までのような対策を取って来たか。又今後県に対してどのような対策をとるのか、改築の見通しはできているのか。

**町長** 対策として毎年県に対し町の要望書を提出している。今後も早急に改築されるよう県に対しねばり強く要望をしていく。



老朽化が進む中学校校舎



# チャイルドシート無料貸付け制度を

## 町長 町独自では考えていないが



齊藤 ちづ子 議員

**問** 不用になったチャイルドシートを、町に寄附して頂き、次の方に無料で貸付けするシステム作りはできないものか。

**町長** 町独自の貸付けは考えていないが、今後、民間の活動も踏まえて考えていきたい。

**問** 町長にやる気があれば、すぐできることでは。

**総務課長** チャイルドシートにかかわらず、行政でやるのは難しい。民間で登録制でやっている所があり、注目している。今後の課題である。

### 合併問題について

**問** もっと町民との懇話会が必要では。

**町長** 出前の説明会も2回やった。住民の方々によく理解

して頂くため、今後考えていきたい。

**問** (堤言) 合併するしないにかかわらずメリット、デメリットをはっきり明示しながら、説明会、懇話会に望んで頂きたい。

### 中学校改修

#### 改修について

**問** 町民は、全面改修に期待していたのだが、本当に改修改築でいいと思っているのか。

町長の思う理想の形は何なのか知りたい。

**町長** 耐力度が5,000点以下にならず補助対象にならないため、大規模改修改築で考えている。あらゆる手段を講じて計画にそってやるつもりである。

**問** 全面改築に向けての突破口はないのか、又特徴ある中学校づくりとか、考えられないのか。

**助役** 財政的なことを考えると18年度に着工したいので、大規模改修改築の方向になる。



命を守るチャイルドシート

### 〈豆知識〉

#### 耐力度とは

施設の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の3つの項目で建物の老朽状況を評価する度合のことです。一定基準を下回れば、国の補助を受けられます。



# 国保税の引き下げはできないか

## 町長 引き下げは考えていない



上西 祐子議員

**問** 国保税が高く、本町でも滞納世帯が増えている。国保税の基金が1億9千万円積み立ててある。その一部でも取り崩して保険税の引き下げを図ることはできないか。

**町長** 平成15年は値上げせず据えおいた。更なる引き下げは考えていない。

**問** 生活に困っている世帯、失業、病気で収入が著しく減った世帯に医療費の一部負担金の減免や徴収猶予の制度を活用できないか。

**健管事務長** 自己負担が限度額を超えた時、高額医療費として支給されている。住民税非課税世帯は35,400円の限度額で、又年4回高額医療費の支給の時は24,600円と限度額が設定されている。

## 健康づくりについて

**問** 健康づくりのため今の検診に加えて、脳ドック、歯科検診、前立腺ガン検診を取入れて行く考えはないか。

**健管事務長** 歯科検診は乳幼児期の母子保健の問題として取り組んでいる。前立腺ガンは次年度から進めたいと考えている。脳ドックは現在取り組んでいない。

**問** 基本検診後の取り組みはどの様にされているか。

**町長** 事後指導対象となる方へ健康づくりサポート講座を開いてきたが、参加者が少ないので、15年度からは各地区公民館や集落館など地域で出前の集団健康教室を開催してきた。極端に悪い人は、保健師が訪問して個別に助言を行っている。

## 子育て支援センター設置を

**問** 次世代育成支援法が国会で成立したが、本町の子育て支援の具体的プランを伺う。

**町長** 少子化は本町でも確実に進行している。今回建設す

る多世代交流センターに子育て支援センターを設置する。子育てや育児に悩む保護者の相談、情報提供、子育て支援グループの育成など、ネットワークの中核として位置づける。又何日も仕事を休めない保護者の支援として病後の回

復期の乳児を預かる病後児保育事業を検討している。新生児、妊産婦訪問指導事業は、児童虐待の予防からすべての新生児、産婦の訪問を実施し、育児不安の解消に努めていきたい。





# 生ゴミ資源化の考えはないのか

町長 平成23年から計画している



原田 重治議員

**問** 生ゴミの資源化を行うつもりはないか。町の生ゴミの大半は焼却処分されていると聞くが、都農町では、民間会社と宮大が共同開発した生ゴミ処理機によって出来た堆肥をイチゴ、トマト等に使用したところ糖度が5〜6度アップしたと聞く。本町で検討する気はないか。

**町長** 町は生ゴミ処理器コンボックスを<sup>522</sup>基販売しており、平成14年度から電動生ゴミ処理器に補助金を出して資源化に努めている。又平成23年稼働の清掃工場では、生ゴミを焼却しガス回収による発電とする計画である。

**問** (提言) 開発した生ゴミ処理機によって作られた堆肥を使うことにより糖度アップ

になれば、販路も広がると思う。研修し検討してもらい、その結果を報告してもらいたい。

## 合併の結論を出す時期では

**問** 合併の結論を出す時期にきているのではないかと。町民のアンケート結果は賛成反対均衡している。又迷っている人も多い。町長が結論を出す時期にきていると思うが。

**町長** 合併に否定的な人が多くい。財政状況を考慮し単独も視野に入れてのシミュレーションを作成中であるが、議会の三町合併協議も考慮しながら協議して行きたい。

## 職員の規律について

**問** 合併するしないにかかわらず厳しい財政状況の時代が来ると思う。議員の定員削減、職員の仕事の合理化、町長の強力なリーダーシップが大切である。又ミスを最少限にするためには、命令系統の充実とそのチェック機能だと思ふ。

近年町長の指示が末端の職員まで徹底されていない面がう

かがえる。

**町長** 財政的に厳しい時代を乗り切るには、尚一層の合理化、職員一人ひとりが自己研鑽自己啓発に勉めなければならぬ。

又色々な機会をとらえ指導して行きたい。

## 町立病院の運営について

**問** 平成12年から患者数が激減している。今年は昨年より5千人以上の減少となりそうである。経営をどうするか。又町立病院の将来を考える会の結果は出ているのか。

**町長** 50年に亘って町民の健康増進に寄与して来た町立病院を、これからも皆さんの英知を借りて存続して行きたい。



コンボックス (生ゴミ処理器)



# 町広報塔は時代に対応出来ているか

## 町長 老朽化によりシステムの検討中である

一般質問



池田 克子議員

**問** 防災行政無線広報塔（パンザマスト）は、災害発生時に逸速く広報出来る等の利便性がある。しかし、それも設置場所やマストの高さによって騒音になることがある。

ある住宅密集地で改善の要望が出されたが、その後の対応についてきく。

**総務課長** 要望のあったマストは、より高いものと交換すべく12月に補正を組んだ。

**問** 広報塔で日に4回の時報をするが、早朝6時は必要か、見直して検討できないか。

**総務課長** 各方面から実情はよく聞くが、いまだ廃止には致っていない。

**町長** 多くのパンザマストは老朽化している。双方向システムが良いか、今後の検討を

している。

**問** 防災行政に充分利用出来るのがケーブルテレビである。

平成11年「新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業」として1億4000万円の予算で町の中心部と蓼池方面が整備されたが、現在の普及率は何か。

**町長** 一次整備区域6535戸の内2711戸で41.4%

**問** 同じく平成15年度の当初予算1億円は執行されたのか。

**町長** まだ国、県の措置がない。3月にきた例もあるので待ちの状態だ。

**問** 平成11年度に設置した緊急情報送信端末は今、どのように利用されているのか。

**総務課長** ケーブルテレビがまだ未整備のため、一回も利用していない。

### 委託職員の

### 雇用について

**問** 現在の申込者数と雇用されたのは何名か。

**町長** 申込者130人。うち雇用は新規者も含めて47名。

**問** 新たな雇用形態にワークシェアリングが注目されてい

る。残業時間を減らして、その分新規の臨時雇用を生むことができる。当町は実施しているのか。

**総務課長** 本年4月から3つの課で実施した。

**問** 当年度時間外手当は5117万円である。その半分を原資とした場合約14人の新規臨時雇用が可能である。このシステムを全体に導入しては

**町長** 今後検討したい。



パンザマスト



# 長田小学校

長田小は雄大な自然の懐に抱かれ、近くには椎八重公園や長田峡などの名勝もあります。平成14年に運動場、体育館、プールが新設され学習環境が更に充実しました。地域の温かい支援を頂き、47名の児童は元氣一杯、勉強に運動に頑張っています。



池辺さんより自然や命の尊さを学ぶ

## 自然や地域社会の特性を生かした教育活動が実る

地域の特性を生かした学校づくりとは…

地元の池辺さんからヤマメの受精を通して自然や命の尊さを学んだ。轟木地区の方々から郷土料理の作り方も教えて頂きました。また地区内のたぐさんの高齢者の方々に学校にお招きして、昔の遊びをしたりして楽しい交流会をしました。

そして、地元の轟木先生からは長田の歴史について詳しく教えて頂きました。

独自の学力向上がなされているようですが…

ぐんぐんタイム、トライタイムと名づけ、朝や放課後の時間に漢字や計算の練習、表現力の育成をしています。また毎朝10分間読書をします。職員による読み聞かせも実施していますが、とても楽しんでいます。尚、折々の感動を俳句や短歌に詠み廊下に掲示したり、コンクールに応募したりし

ます。



体育館落成式で披露

地域の伝統・文化の継承も…

棒踊り・奴踊りは長田に昔から伝わる伝統芸能です。起源は朝鮮の役の当時、泗川の戦いに凱歌をあげて踊り上がったのがそもそもの始まりと伝えられています。保存会の皆さんに教えを請い、子供たちが継承に頑張っています。

機会を捉え地区の方々にも披露しております。

学校長 角 直行

電話54-10280

取材 山領 征男

## 編集後記



新年あけましておめでとうござい  
ます。

町民の皆さまには、新春を心新た  
な気持ちでお迎えのことと心から  
喜び申し上げます。

新年1月の本町において諸行事が  
行われました。

5日は成人式、数年前までは荒れ  
る成人式と新聞・テレビ等で報道さ  
れていましたが、本町の成人式は穏  
やかな(一部の人たちの私語は聞こ  
えてきませんが)式で終わりました。  
晴着に着飾った女性、袴姿の男性で  
式終了後は会場の外でグループで写  
真を撮ったり、談笑したりで一度に  
花が咲いたようでした。

8日には新春懇談会、町内の各種  
団体等の代表者が集い、佐々木鴻昭  
氏の「知恩の心」と題して講演があ  
り話しの内容に感激しました。

11日は町消防出初式が行われ団員  
たちのきびきびした動作を見て、町  
の消防防災は大丈夫と安心いたしま  
した。

私達、広報編集特別委員は、親し  
みある「議会だより」を作るよう努  
力してまいります。今後ともご愛読  
下さいませようお願い申し上げます。

広報編集特別委員

福留 久光